

宅内の水道管の凍結にご注意ください

寒い日が続く冬になると宅内の水道管が凍結しやすくなります。特に長期不在にする場合や気温がマイナス4℃以下になると凍結により宅内の水道管が破損してしまうことがあります。

四日市市でも、令和5年1月に観測史上、最低気温となるマイナス8.9℃を記録し、市内全域で凍結の影響による宅内の水道管の破損が発生しました。

宅内の水道管が破損すると修理費用や漏水した分の水道料金等も発生してしまい、お客様が自身で高額な費用を負担することになってしまいますのでご注意ください。

以下のことにお気をつけていただき、宅内の水道管の冬支度を行いましょう。

① 特に凍結しやすいところ

- 屋外に露出している水道管 ○風当たりが強く、日かげにある水道管
- 水道管が北側にあるところ ○メーターボックス内 ○屋外給湯器

② 凍結を防ぐために

- (1) 水道管・・・市販されている保温チューブや布などを巻いて保温し、濡れないようにその上からビニールテープ等で防水しましょう。
- (2) メーターボックス・・・布やちぎった新聞紙などをビニール袋に入れたものを詰めて、保温しましょう。
※保温材が濡れると凍りやすくなるので、必ずビニール袋に詰めて濡れないようにしましょう。
- (3) 蛇口から少量の水（直径2～3mm程度）を流しておく、凍結しにくくなります。
流した水は浴槽やバケツなどに貯めて、飲用以外の生活用水として有効活用しましょう。
- (4) 長期不在の場合は止水栓を閉めておきましょう。

③ 水道管が凍結してしまったら

蛇口を開けて、凍結場所にタオルをかぶせ、ぬるま湯をゆっくりかけて解かしてください。あわてて熱湯をかけると、水道管が破裂することがあります。

④ 水道管が破損してしまったら

メーターボックス内の止水栓を時計回りに回して閉め、水を止めてください。

「四日市市上下水道局 指定給水装置工事事業者」に修理を依頼してください。



⑤ 漏水の調べ方

敷地内の蛇口すべて閉めます。水を出していない時にパイロットが回る場合は漏水している可能性があります。

